

ちょっとひと工夫

NO.11

— 家庭学習改善のための情報 —

教学指導課

新たな家庭学習モデル創出事業の成果

モデル校の取組から明らかになってきた改善のポイント <取組編④>

- A 授業と関連付けた家庭学習にする。
- B 家庭学習の内容について子どもたちが確実に理解したかを評価し、補充指導を行う。
- C 子どもたちが自分で見つけた課題に取り組む家庭学習にもチャレンジさせる。
- D 小中連携して9年間を見通して家庭学習を考える。
- E 子どもたちとともに家庭学習の内容や方法を考え、見直しをしていく。

<< 具体的な取組例 >>

- ・提出率を評価しない。ついた力を評価。補充指導により個の取組状況を詳細に把握。また、評価で終わらないように、放課後等の学習で一人一人の実態をきめ細かく捉え、個別指導。
- ・家庭学習の提出率は評価の対象外。「得意教科は自主性に任せてほしい」「苦手教科を勉強したい」といった生徒の声を生かして、生徒とともに家庭学習を検討。生徒の主眼的な学習により、学習内容をさらに深く理解できる家庭学習へと改善。

生徒が確実に理解したかを評価し、補充指導を実践

家庭学習を採点し、やり直しの時間を確保。課題は何かを捉えて、即時評価・指導



テスト⇒家庭学習⇒テスト⇒家庭学習の評価改善サイクルにより、確実に学習内容を身に付けることができるようにする。

※ 家庭学習の改善を進めている学校の工夫を紹介しています。参考にご覧ください。

改善のポイント A, B型

予習・復習により授業と関連付けた家庭学習に改善しているG中学校

○改善の取組の具体例

- ・主に社会科において、授業があった日には授業を振り返る内容について記述。他に、2～3時間分先の内容を予習できる家庭学習プリントの実施。
- ・全校で、月初めに、家庭学習の計画書を作成。また、午後の学活時には、家庭学習内容の点検・評価を実施。
- ・年度当初に、全校・学年・教科で家庭学習を含めた学習内容の確実な定着に向けたガイダンスを実施。

改善のポイント A, B型

生徒の実態を踏まえながら改善し、家庭学習への意欲を高めているH中学校

○改善の取組の具体例

- ・学習内容の確実な定着と取組が継続しにくい生徒への支援を目的として、プリントによる家庭学習を実施。
 - ・家庭学習プリントは、基礎基本の問題、授業の内容、入試問題等を織り交ぜて作成。定期テストで類題を出題し、理解できたかを確認。
- 今後検討すること
- ・職員の意識統一を図るため生徒アンケートの実施。生徒が変わった姿を共有。